

探 究

探究 Co 便り 文：山地
令和6年12月18日(水)
NO.12

開智探究の日 ～伊藤先生の授業を通して学んだこと～

浜さんの想いを感じながら活動をする子どもたち

授業の導入で、藍染め工房の浜さんからのメッセージを確認しました。私は途中から参観させてもらったので、その部分を見ることができず残念でしたが、教頭先生が「あれはとてもよかった。」とおっしゃっていました。



その後の子どもたちからの発言

R「(浜さんは)個性を出してもらいたかったです。」

N「『自由に作って』って、子どもを愛している」

E「私が浜さんだったら、貸していないと思う。がんばってみます。」



浜さんの“未来ある子どもたちに藍染めを知ってもらい、伝統をつないでいってほしい。だからと言って、自分の作ってきたものを同じようにやるのではなく、子どもたちには自由な発想で藍染めを楽しんでほしい”という想い(私はそう読み取ったのですが…)をそれぞれに感じ取っていたように思いました。

ただ作るのではなく、相手の想いを受けて活動を進めていくというのは、とても価値があるものだなあと感じましたし、伊藤先生のこの活動への想いも感じました。



黙々と型抜きをする子どもたち

デザインは事前に決めていたようだったので、どうしてそのデザインにしたのかそれぞれの想いは分かりませんが、「これ、とってもきれいな模様だね。」と話しかけるととても嬉しそうにしてくれました。また、活動が始まると、みんな集中して型を切り抜いていました。「こうしたい!どんどんやりたい!」とう気持ちがあふれていました。活動の

はじめに、伊藤先生が切り方の注意をパワーポイントで説明されていました。そういう細やかな配慮も大切だなあと見させていただきました。